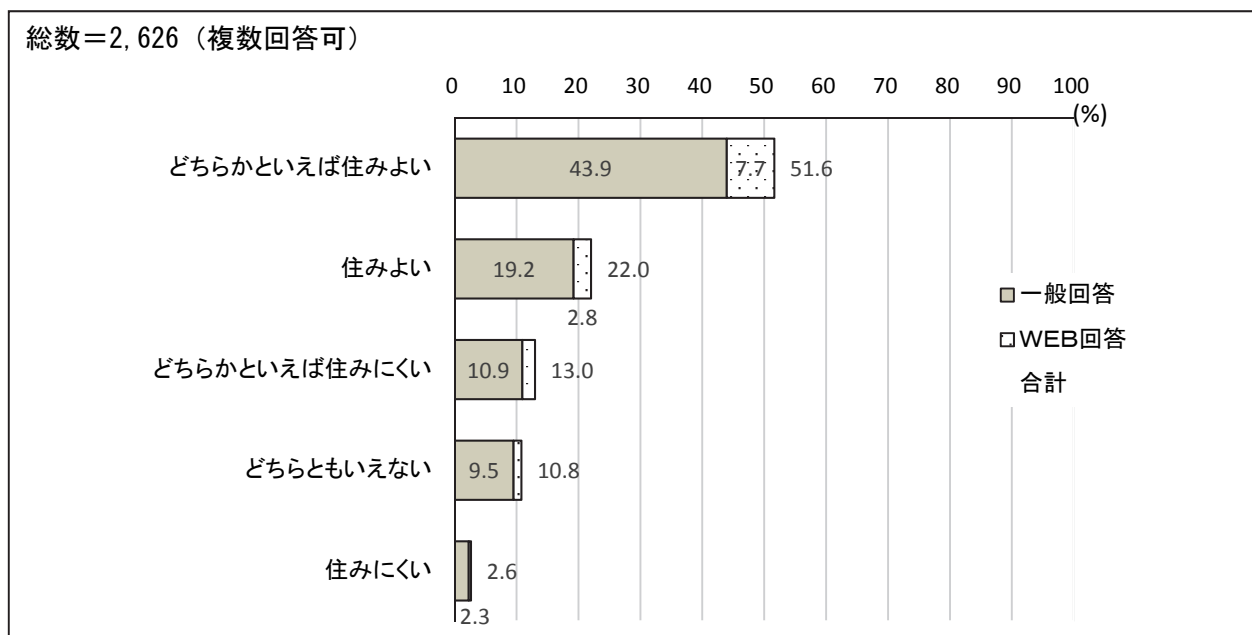


III 調査の分析

1 定住意識について

(1) 新座市の住み心地

問1 新座市の住みよさについて、どのように感じていますか。次の中から1つ選んで、○をつけてください。



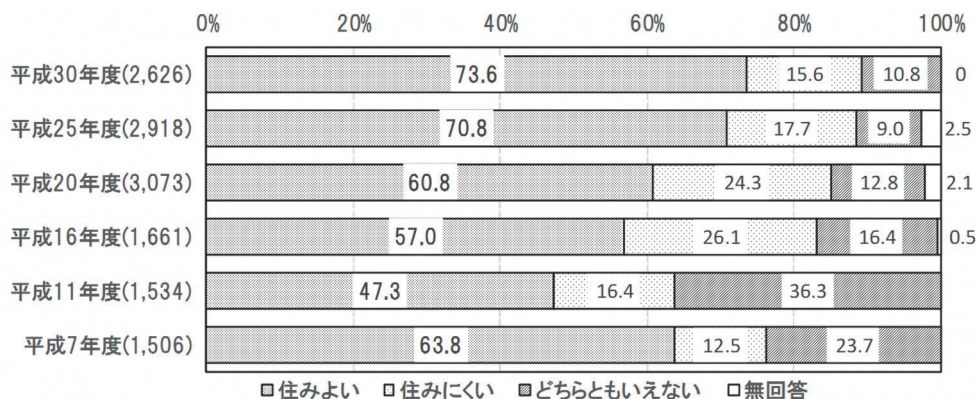
■全体傾向■

新座市の住み心地については、「どちらかといえば住みよい」(51.6%)の比率が最も高く、「住みよい」(22.0%)と合わせた『住みよい(計)』は73.6%と7割を上回っている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(13.0%)と「住みにくい」(2.6%)を合わせた『住みにくい(計)』は15.6%にとどまっている。

■経年比較■

過去5回の調査と比較すると、「住みよい」との回答比率は、平成11年に大幅に低下しているが、その後増加傾向にある。平成25年度に比べて2.8ポイント上昇している。

一方、「住みにくい」は、平成16年度以降低下傾向にあり、平成25年度から平成30年度で2.1ポイント低下している。



■属性別の傾向■

【性別】男女共に「住みよい」の比率が20%を上回っている。

【性・年齢】男性は60歳代で、「住みよい」と感じる比率が15%近くまで下がるのに対し、女性は年齢が高くなっても「住みよい」の比率が20%を超えている。

【居住地域】〈北東地域〉〈北西地域〉〈中央地域〉で、「住みよい」との回答率が20%を超えている。

【居住年数】「住みよい」の回答率は、〈生まれてからずっと〉が31.9%と一番高い。

